【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成18年10月5日(2006.10.5)

【公表番号】特表2002-525668(P2002-525668A)
【公表日】平成14年8月13日(2002.8.13)
【出願番号】特願2000-571284(P2000-571284)
【国際特許分類】
Ｇ０２Ｂ　5/30　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　3/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　27/28　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/13　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/1335　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　21/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０２Ｂ　5/30
Ｇ０２Ｂ　3/00　Ａ
Ｇ０２Ｂ　27/28　Ｚ
Ｇ０２Ｆ　1/13　５０５
Ｇ０２Ｆ　1/1335
Ｇ０２Ｆ　1/1335　５１０
Ｇ０３Ｂ　21/00　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成18年8月4日(2006.8.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
入力レンズレットアレイ素子（１２０）であって、
各々が焦点（１２６）を有する複数の集束レンズレット（１２４）を有する集束表面（１２２）と、
少なくとも１つの反射領域（１３２）および少なくとも１つの透過領域（１３４）を有し、一方の前記集束レンズレットの焦点が、対応する透過領域に光学的に整列配置されている反射／透過表面（１３０）と、を含む入力レンズレットアレイ素子（１２０）と、
複数の視準レンズレットを含む出力レンズレットアレイ（１６０）と、
前記入力および出力レンズレットアレイの間に配置されて、非偏光ビームの第１成分を透過し、非偏光ビームの第２成分を反射する偏光積層体（１４０）と、を含み、
前記入力レンズレットアレイの前記複数のレンズレットと、前記出力レンズレットアレイの前記複数のレンズレットとが、互いに光学的に整列配置されていることを特徴とする、非偏光ビームを偏光するための偏光変換器（１１０）。
【請求項２】
前記偏光積層体が、
反射偏光子（１５０）と、
前記入力レンズレットアレイと前記反射偏光子との間に配置されて、前記第２成分を円形偏光する４分の１波長リターダ（１４２）と、を備え、
前記入力レンズレットアレイ素子と、前記出力レンズレットアレイ素子と、前記反射素

子と、前記４分の１波長リターダと、前記反射偏光子とが、互いに光学的に整列配置されていることを特徴とする、請求項１記載の偏光変換器。

【請求項３】

前記反射領域がほぼ凹状のミラーを含むことを特徴とする、請求項１または請求項２のいずれかに記載の偏光変換器。

【請求項４】

前記透過領域が、垂直面にほぼ垂直なほぼ平坦な領域を含み、前記反射領域と前記透過領域とが互いにかみ合っていることを特徴とする、請求項１～請求項３のいずれか１項に記載の偏光変換器。

【請求項５】

請求項１記載の偏光変換器を含むことを特徴とするＬＣＤ投影組立体。

【請求項６】

請求項１記載の偏光変換器を含むことを特徴とする偏光源組立体。